

副院長就任のご挨拶

池田義毅前副院長の定年退職により、2018年4月より副院長に就任いたしました生形之男（うぶかたのぶお）です。専門は消化器外科で医者になって30年目となります。平成5年から6年まで杏林大学第一外科からの出向で複十字病院で研修させていただきました。その時のご縁で平成9年より常勤医として勤務を始めました。生涯一研修医として臨床の場で仕事をしている間に、いつの間にか複十字病院で21年の歳月が経過いたしました。

まだまだ、前副院長には遠く及ばない新米副院長ですが、これから皆様のご支援助で協力をよろしくお願いたします。

ご存知の方もいると思いますが、昨年は諸事情により私が病棟長を務める消化器センターのメイン病棟が閉鎖をやむなくされました。複十字病院から消化器科がなくなるという噂もあったようですが安心してください。消化器センターは、診療や治療を縮小することなく、今まで通りに診療していますし、今後も消化器センターがなくなることはありません。現在、病棟の再開のに向けて準備中です。

早速ですが皆様にお願があります。現在、複十字病院が推進していることの1つに地域医療支援病院の認定を受けることがあります。

地域医療支援病院とは厚労省によると、「紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用等の実施を通じて、かかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援し、効率的な医療提供体制の構築を図ることを目的としている」病院だそうです。近隣のほとんどの大きな病院はこの認定をすでに受けています。この認定には色々な条件がありますが、紹介患者中心の医療をしていることが認定要件の1つになります。簡単に言うと、当院を受診されるときに「かかりつけ医」の紹介状を持って来院していただくということ、当院での専門的な治療が終了したら「かかりつけ医」に戻っていただくということです。患者さんにはなかなか納得できないシステムであるかもしれませんが地域の医療機関との医療連携を推進し、機能分担を図り、限られた医療資源を有効に活用していくためにご協力をお願いいたします。近隣の先生方にもご迷惑、ご負担をおかけするとは思いますが、何卒趣旨を理解していただきご協力をお願いしたいと思います。



今月のトピック

複十字病院の電子カルテ導入について

情報システム部長 早乙女 幹朗

複十字病院は、2018年5月28日から電子カルテを導入します。当院は1990年代のレセプトコンピュータ導入に始まり、2003年にはオーダリングシステム供用開始、その後は各部門システムを段階的に導入して医療情報システムの充実を図ってきました。最近では2015年にフルオーダリングシステムの更新をおこなって診療の電子化がかなり進みましたが、今回の電子カルテ導入により、業務のほとんどがコンピュータ化されます。現在、我が国の300床以上の規模の病院での電子カルテの普及率は半数を超えており、最近では当院に入職してくる若い医師や看護師の中には、はじめて職に就いたときから電子カルテを使用していて紙カルテでの仕事は経験がない、という方が多くなってきています。今回のシステム導入で、当院もやや遅ればせながら時代の波に乗る形となりました。電子カルテは、「モノ」の運搬が各所で省略できることと、繰り返して同じパターンの作業をこなすにはたいへん便利な仕組みとなっており、それらの点では業務効率の向上に大きく寄与します。単純作業は簡単確実な電子カルテに任せ、空いた時間を患者さんの診療に充てる、というのが電子カルテ導入の最大の目的です。さらに、電子カルテ導入により種々の診療データが統合されて分析可能になるため、診療レベルの向上にも役立つ情報が得られます。当院では昨年度から各部署の意見をとりまとめ、この原稿を書いている4月上旬には電子カルテ供用開始に向けて最終調整作業を進めています。電子カルテ導入の直後には職員が新しいシステムに不慣れなため、ときにより病院利用者の皆様をお待たせする場合がありますが、職員一同頑張ってまいりますので、皆様にはどうかご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

登録医紹介



保険医療機関・救急指定
医療法人 財団 **織本病院** ORIMOTO HOSPITAL

住所 〒204-0002
東京都清瀬市旭が丘1-261

電話 042-491-2121

FAX 042-491-6654

【外来診療】

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○	△
13:30~16:30	○	○	○	○	○	○	△

午前診療開始9:00、午後診療開始14:00
(急患は曜日・時間問わず常時受け付けております。)

1952年創立の織本病院は清瀬の地では歴史ある病院で、当初は重症結核の外科治療を主体とする病院として開設しました。現在では腎臓病・糖尿病・高血圧などの生活習慣病の治療を主に行っております。透析医療にも実績を持つ病院ですが、腎機能障害の段階で食事や生活習慣を変えることで病気の改善を図り、透析が必要にならないような治療を目指しています。腎不全食をいかに美味しく料理するかを実践する調理実習や指導のほか、腎不全診療を行う理事長自らが考案した腎不全食のフルコースを提供するレストラン形式のイベントなど、様々な取り組みを実施しています。



織本病院 院長
藤木 達雄

また、当院では健康診断や人間ドックにも力を入れており、地域住民の皆様の健康管理に寄与したいと考えていま

す。他にも、院内イベントとして腎疾患・糖尿病の勉強会やコンサートなどを定期的に行っており、一般にも開放しています。イベントを通じて、織本病院を知って頂ければと思います。

私は、1999年より非常勤医師として織本病院で勤務することになり、そのご縁で2009年4月に副院長、2016年7月からは院長として従事しています。専門は心臓血管外科で、当院では救急手術や全身麻酔手術は行えませんが、ペースメーカー挿入・交換が可能です。トレッドミル検査、64列CTによる冠状動脈など心臓評価も可能です。日頃は、地域に根ざした病院としての役割を担うべく、専門にこだわらず内科・外科と幅広く診療を行っています。開業医の先生がもう少し上のレベルでの治療や入院が必要と思われた際に患者様を紹介して下さり、また更に当院で高度治療の必要があると判断した場合は、近郊の大学病院などを紹介しています。つまり、クリニックと専門性の高い病院とのパイプ役のような役割も果たしています。また、手術後すぐに自宅療養が難しいという場合の中継所の様な機能も有しています。もちろん地域の救急指定病院でもあるので、夜間・休日にも急患対応を行っています。

複十字病院との連携も盛んで、同院が定期的に主催する院内感染対策に関するカンファレンスに参加しており、日常診療以外にも病病連携の充実を図っています。

地域における織本病院の存在意義を改めて考えてみたところ、これから迎える超高齢化社会の一翼を担うことだと感じています。そのためには、この地で病院を存続させることが私達の最大の使命であると捉えています。

これまで以上に、複十字病院をはじめとする近隣の先生方との連携を活発に行うことで、さらに地域に貢献できるよう当院スタッフ一同、精進してまいります。



毎月第1木曜日(変更になることもあります)の13:00から行っている『腎疾患・糖尿病ゼミナール』です。慢性腎臓病や糖尿病をはじめとする慢性疾患・生活習慣病についての勉強会で、どなたでもご参加頂けます。8月と12

月はお休みで、1月は新春特別講演会を開催しています。



毎年12月の第2土曜日14:00から開催している『クリスマス夢コンサート』です。合唱に加え、様々な楽器やビッグバンドの演奏もあり、とても楽しいコンサートで、こちらもどなたでもご入場頂けるイベントです。

桜まつり

を開催しました



昨年に引き続き今年も4月4日（水）に職員の親睦と30名の新入職員の歓迎を兼ねた桜まつりを院内で、開催しました。この日は最高に良い天気で、気温も高く、初夏を思わせる日でした。（なんと次の日との気温差が10度ありました！）ただほんの少し残念だったのが、前日まで気温が高く葉桜になってしまった事でしたが、新入職員の方のまぶしい笑顔が桜の代わりとなる事ができました！今年によりお祭りに近づけるように、屋台を意識したメニューを用意しました。外注はほとんどせず、栄養科の力を借りて、様々なメニューが並びました。豚汁、すいとん、たこ焼き、デザート、焼き鳥、フライドポテトなどなど、そしてお祭りには欠かせないヨーヨーが登場し、場の雰囲気盛り上げてくれました。

豚汁、すいとんは、ブロックを囲んで作ったかまどに、夕方から炭で火をおこした上に鍋を温め、熱々の物をその場で皆さんに提供しました。とても美味しかったです。

1時間半と短い時間ではありましたが、沢山の職員に参加頂き親睦を深められたのではないのでしょうか。毎年各部署の協力があり、桜まつりを無事開催する事が出来ました事を、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

事務部庶務課 桜まつり事務局 鈴木 博恵

しづ や ひとし
渋谷 均

●配属先／放射線診療部長(治療)

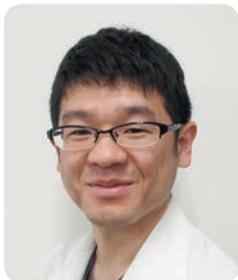
▶患者さんへのメッセージ

平成もあと残りわずかとなった年の瀬に本棚を整理していると中から昭和の年号の入った古い書類が出てまいりました。その文面には清瀬の結核予防会での学生向けの夏期講習会10泊分金4千円の領収が記されていました。冷房のなかった当時、セミの声が遠く響く松林に囲まれた木造の講堂での講義は今でも懐かしく思い出されます。

あれから後、大学などでの30余年、東京都保健医療公社豊島病院での5年などの半世紀近い放射線治療の日々は先輩や同僚、スタッフや患者さんたちなどからの協力や思いやりに恵まれた日々でした。

予防会講習会で知り合いながら戦火の中に連絡の途絶えたエチオピアのセムさんや大学と一緒に学位論文を執筆し、今も紛争の続くイランに帰国していったフセインさん、そして夫の日本勤務についてきて私費で大学院に入学、さらに頑張っって日本の医師国家試験を取得して日本で放射線科専門医として活躍している張さんなどのことは今でも鮮明の記憶に残っています。

そして今、わたくしは思い出に呼び寄せられるように複十字病院に戻ってまいりました。これから、よろしくお願いたします。

ふる うち こう し
古内 浩司

- 配属先／呼吸器センター
呼吸器内科
- 出身地／兵庫県
- 出身大学、卒業年／
京都大学
2012年卒

▶大学卒業後の主な経歴

西神戸医療センターで初期研修を行い、その後倉敷中央病院で4年間勤務。2018年から複十字病院に勤務。

▶専門医・認定医資格

内科認定医、結核・抗酸菌認定医

▶趣味及び特技

スポーツ観戦

▶患者さんへのメッセージ

患者さんの気持ちに寄り添った診療を心がけていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

ふじ わら けい し
藤原 啓司

- 配属先／呼吸器センター
呼吸器内科
- 出身地／茨城県
- 出身大学、卒業年／
秋田大学
2013年卒

▶大学卒業後の主な経歴

筑波メディカルセンター病院で初期研修。その後、筑波メディカルセンター病院、筑波大学、筑波記念病院で勤務。

▶専門医・認定医資格

日本内科学会認定内科医

▶趣味及び特技

旅行

▶患者さんへのメッセージ

今まで茨城県で呼吸器診療に従事してきました。丁寧な診療を心掛けています。よろしくお願いたします。

しら い たつ や
白井 達也

- 配属先／呼吸器センター
呼吸器内科
- 出身地／東京都
- 出身大学、卒業年／
杏林大学
2014年卒

▶大学卒業後の主な経歴

2014年 自治医科大学医学部附属病院で初期研修医
2017年 杏林大学医学部第一内科入局

▶専門医・認定医資格

内科認定医

▶趣味及び特技

ドライブ

▶患者さんへのメッセージ

分かりやすく、丁寧な診療を行えるように心がけております。



- 配属先／消化器センター
消化器外科
- 出身地／石川県
- 出身大学、卒業年／
杏林大学
2011年卒

▶大学卒業後の主な経歴

湘南藤沢徳洲会病院で初期研修修了。
杏林大学消化器一般外科入局。
公立昭和病院、佼成病院へ出向。

▶専門医・認定医資格

外科専門医

▶趣味及び特技

旅行、スノーボード

▶患者さんへのメッセージ

外科だけではなく、消化器全般、内視鏡治療もできるドクターを目指しています。よろしくお願ひします。



- 配属先／呼吸器センター
呼吸器外科
- 出身地／埼玉県
- 出身大学、卒業年／
群馬大学
2007年卒

▶大学卒業後の主な経歴

群馬大学医学部付属病院で初期臨床研修。同外科学講座へ入局後、群馬県内の関連施設（高崎総合医療センター、渋川医療センター）に勤務。

▶専門医・認定医資格

外科専門医、呼吸器外科専門医、FUSE (Fundamental Use of Surgical Energy) 資格取得

▶趣味及び特技

ラジオ体操

▶患者さんへのメッセージ

一人ひとりの生活を支えるための治療を目指しています。よろしくお願ひします。

2年連続
受賞!!

第4回「やさしい素材」レシピコンテスト 今年はメディベア賞!!

かむ力が弱くなった方向けのムース・ゼリー状の食品素材『やさしい素材』シリーズ、『やさしいおかず』シリーズを取り入れたオリジナルレシピ「世界の料理コース」に応募しメディベア賞を受賞しました。



栄養科 調理師 普入 政幸

お陰様で2年続けて受賞する事ができ、一部の方からは「ウラがあるの?」なんて声も聞かれました。勿論そんなことはありません!(笑)

テーマに沿った料理を毎年考察しながら形にしていく中、今年は個々のニーズに対する考え方を再認識できるコンテストになりました。

作り手のコンセプトが必ずしも万人受けするわけではなく、求めている方々の思いはもっと身近な処にあるように感じます。

懐かしさや親しみのある料理には自ずと箸が伸び、且つ自然と笑顔溢れる食事にこそこの食材の持つ意味があるのではないのでしょうか。

通常業務では使うことの無い食材故まだまだ未発見な部分も多い反面、更なる可能性がある事になりありません。

受賞の喜びもひとしおですが、これに驕る事なく今よりも更に探究し続け、至高の一品を作り上げていきたいと思っています。



クックパッドでレシピ紹介中!! ▶ <https://cookpad.com/recipe/4878319>

立川シティハーフマラソン (複十字病院走ろう会)

呼吸器外科 下田 清美

「複十字病院走ろう会」は、職種を問わず、一緒にマラソン大会に出場するという活動をしています。メンバーには、元陸上部という本格派もいれば、複十字に入職してから走り始めた人もいます。レースにできるのは事前の調整を含めて大変ですが、一緒にやる仲間がいると励みになりますし、レースの後に皆で飲むビールは格別です。

ランニングの習慣を持つと、体が丈夫になり疲れにくくなり、辛いことに忍耐して取り組む力がつくようです。長時間の手術のときなどに、ランニングの効用を感じます。

ランニングには減量や、体調管理などが必要です。そのために、代謝学や生理学の知識を、治療者目線ではなく自分の体のこととして学び、自分の心身と向き合います。そのことは患者さんと向き合うときに、実際的な知識として役立っているように思います。

職場のなかに、学生時代の部活のような人間関係があることは楽しく、普段話すことの少ない部門のスタッフとも友達になれるのが面白いところです。



東京マラソン2018体験記

石黒 和夫

昔は走ることに全く興味がありませんでした。以前にも記しましたが、若い頃はおじさんがジョギングしているのを見ると「あんなことしてどこがおもしろいんだろう。バ○じゃないの?」とさえ思っていました。数十年の時がたち、自分がジョギングしている時にふと昔を思い出しました。「あ、あの時のおじさんと同じだ。」歴史は繰り返す?

46歳の時に健康のために始めたジョギング。4~5kmのレースやハーフマラソンの大会にも何回か出場してみて、一度くらいはフルマラソンを走ってみたいと思っていました。ということで何回かの申し込みの末にようやく抽選に当たり、2018年2月25日、東京マラソン2018の当日を迎えたのでした。皆さんもご存じのとおり、東京マラソンのスタートは東京都庁前。スタートの号砲とともに小池百合子都知事の応援を受けながら、3万数千人が一斉に走り始めます。コースは浅草、銀座、品川など東京の名所を回るもので、快晴のなか、道の両側から応援してくれる人の声援のなか、ビルの谷間の車道を走るのには実に気持ちがいい。スタート前は不安があったものの、30km過ぎまでは快調に走れて、俺ってけっこういけるじゃん、と思ったのもつかの間、やはり35kmの壁がありました。急に足が重く動かなくなり、へろへろになって歩きながらもなんとかゴール。係員から参加賞と記念の金色のメダル(人生初の金メダル。けっこうかっこいい。)をもらい、初のフルマラソンを終えたのでした。

最後のほう足が止まって目標にしていた5時間は切れなかったけれど、非常にいい思い出になりました。いくつになってもいろいろな事に挑戦するというのは楽しい事です。



かかりつけ医との診療連携



二人主治医制

当院では、厚生労働省の指導のもと皆様がお住まいの地域の「かかりつけ医」との連携を推進しています。具体的には、比較的安定した病状の方につきましては、**普段はご自宅近くのクリニック医師に「かかりつけ医」としてご診療いただき**、病状が悪化するなどして専門的な医療が必要になった際には当院へご紹介いただいて**専門医が主治医**となる、いわゆる「二人主治医制」での診療を皆様にお勧めしています。

患者さんが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、地域の病院・診療所等と連携し、それぞれの医療機関の特長を活かし、患者さん中心の地域に密着した医療の実現を目指します。

患者さんの身近で、信頼できる

かかりつけ医



日常的な診療は、
かかりつけ医へ

紹介



連携

返書・
逆紹介



複十字病院

FUKUJUJI HOSPITAL
Japan Anti-Tuberculosis Association



病状の悪化、専門的医療が
必要になったら、複十字病院へ

必要な検査、急性期の治療が終わり病状が安定した患者さんにつきましては「かかりつけ医」の先生にその後の診療をお願いしております。

かかりつけ医を持ちましょう

- 1 ご自宅の近いところで、同じ医師に診察していただけます。
- 2 普段から受診することにより、患者さんの生活を良くご存知の医師から、最もふさわしい専門病院へご紹介頂けます。

近くのクリニックへの紹介を希望される方は、担当医もしくは地域医療連携室窓口へお申し付けください。

かかりつけ医師がない場合には、
当院が連携している医師をご紹介いたします。

紹介状を持って複十字病院にご受診下さい

普段の健康維持の相談や体調が悪いと感じた際は、「かかりつけ医」を受診して下さい。

「かかりつけ医」の先生が専門的な検査や治療が必要とご判断になった時に当院をご紹介下さいますので、当院では専門的な診療をさせていただきます。

かかりつけ医師との連携の際、「紹介状」が重要な役割を果たします。

複十字病院では、「かかりつけ医」の先生にご紹介することを「逆紹介」と呼んでいます。
逆紹介の際は、当院医師がかかりつけ医師宛に紹介状を作成いたします。

2018年2月

研修棟・事務室が 完成致しました。



看護カンファ室

この建物の建設目的は、平成31年度から本格的に始まる研修医制度に対応できる部屋を作る事が大きな目的です。
1F事務室は一足早く移設しております。
2F研修医ミーティング室・看護カンファ室は鍵の準備が出来次第入って頂けます。(少々お待ちください)



研修医ミーティング室



仮眠室



シャワー室・更衣室

複十字病院の行事予定

複十字病院健向ゼミ 時間▶ 14:00~15:00 場所▶ 清瀬市けやきホール1Fセミナーハウス

一般の方向け・申込不要・参加無料・定員50名
お問い合わせ 事務部庶務課 042-491-4111

認知症予防大作戦!!

2018年5月24日(木)

血液検査の話

2018年6月21日(木)

第5回複十字病院地域交流会

日時▶ 2018年7月10日(火) 時間▶ 19:00~(予定) 場所▶ 清瀬アミューホール



予約・紹介のご案内

- 受付時間
平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00
- 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約
電話 042-491-9128
FAX 042-491-3553
- 再診・初診(紹介状なし)のご予約
電話 042-491-6228

複十字病院
〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24
代表電話 042-491-4111
代表FAX 042-492-4765

交通のご案内

- 電車でお越しの方
 - ・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
 - または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
 - ・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車 バス停より徒歩5分
- お車でお越しの方
 - ・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル
 - ・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル